

# 日本学校教育相談学会 研修テキスト 目次

## 1 まえがき

## 2 『日本学校教育相談学会 研修の手引き』

## 3 とともに学びましょう

## 4 「研修の手引き」について

## 5 「学校カウンセラー」資格認定の案内

## 6 日本学校教育相談学会 研修カリキュラム受講記録 (研修カリキュラム一覧)

## 7 執筆者所属一覧(2008年)

1分冊 (共通) \*下記の「科目番号」と「研修内容」は  
研修カリキュラム一覧に示されているものです。

テキスト 番号	科目番号	研修内容
1	( I )	学校教育相談の定義と歴史
2	( I )	学習指導と学校教育相談(未掲載 改訂中)
3	( I )	生徒指導と学校教育相談(未掲載 改訂中)
4	( II )	カウンセリングの理論と実際
5	( III )	子どもの理解と指導
6	( VII )	リラクゼーション
7	( VIII )	面接の基礎技法
8	( IX )	事例研究の理論と演習
9	( X )	構成的グループエンカウンター(未掲載 改訂中)
10	( XI )	発達障害のある子どもの理解と支援
11	( XIII )	保護者との連携
12	( XIII )	学級経営と学校教育相談
13	( XIII )	養護教諭が行う学校教育相談(未掲載 改訂中)
14	( XIII )	保育者が行う学校教育相談
15	( VI )	来談者中心カウンセリング
16	( VI )	認知・行動カウンセリング
17	( VI )	精神分析的カウンセリング
18	( VI )	ユング心理学
19	( VI )	論理療法
20	( VI )	交流分析
21	( VI )	キャリアガイダンス
22	( VI )	ブリーフカウンセリング
23	( VI )	アドラー心理学(未掲載 改訂中)
24	( VI )	内観法
25	( X )	ロールプレイングの理論と実際
26	( X )	ソーシャルスキルトレーニングの理論と実際
27	( X )	アサーショントレーニングの理論と実際
28	( X )	ピア・サポートの基礎
29	( X )	ピア・サポートの応用
30	( XII )	非行の理解と対応(未掲載 改訂中)

1分冊 (共通) \*下記の「科目番号」と「研修内容」は  
研修カリキュラム一覧に示されているものです。

テキスト 番号	科目番号	研修内容
31	( XII )	いじめ問題の理解と対応
32	( XII )	不登校の理解と対応
33	( XIII )	学級担任が行う学校教育相談
34	( XIII )	人間関係の深め方の実際
35	( XIII )	危機管理と危機対応

## 2分冊 (発展)

36	( I )	キャリアの発達と学校教育相談(未掲載 改訂)
37	( III )	子どもの発達と発達課題
38	( IV )	学校教育相談アセスメント概論(未掲載 改訂)
39	( VII )	コラージュ療法
40	( VIII )	相談面接演習
41	( IX )	事例研究の理論と演習
42	( X )	グループアプローチ
43	( X )	心理教育
44	( XI )	特別支援教育における学校教育相談の 役割と意義(未掲載 執筆中)
45	( XIII )	学校教育相談が機能する組織(未掲載 改訂中)
46	( XIII )	豊かな授業を創造する 教育相談的アプローチ
47	( XIII )	相談担当者の役割
48	( XIII )	リソースの活用と連携
49	( XIII )	管理職が行う学校教育相談

## 3分冊 (専門)

50	( I )	学校教育相談と教育施策
51	( II )	理念・倫理・関連領域
52	( IV )	心理検査の理論と実際
53	( IV )	発達障害アセスメント
54	( IV )	精神医学の基礎
55	( V )	リサーチの方法
56	( V )	統計分析の基礎(未掲載 改訂中)
57	( VII )	遊戯療法
58	( VII )	箱庭療法
59	( VIII )	マイクロカウンセリング
60	( IX )	事例研究の理論と演習
61	( IX )	コンサルテーションとスーパービジョン
62	( XI )	特別支援教育と個別対応
63	( XIII )	学校教育相談の基本理念の普及
64	( XIII )	ケースマネジメントとコーディネーション

## 8 執筆者所属一覧

## 9 あとがき